

製品名: HLA-DRB1 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM82889**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ELISA,FC
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	29.9kDa

抗原情報

遺伝子名	HLA-DRB1
別名	SS1; DRB1; HLA-DRB; HLA-DR1B
遺伝子 ID	3123.0
SwissProt ID	P01911
免疫原	大腸菌で発現したヒト HLA-DRB1 (AA: 30-266) の精製組換え断片。

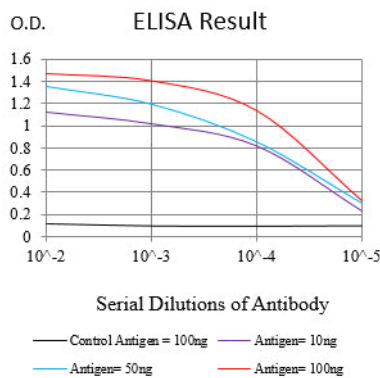
背景

HLA-DRB1 は、HLA クラス II の β 鎖パラログに属します。クラス II 分子は、膜に固定された α 鎖 (DRA) と β 鎖 (DRB) からなるヘテロ二量体です。細胞外タンパク質由来のペプチドを提示することで、免疫系において中心的な役割を果たします。クラス II 分子は

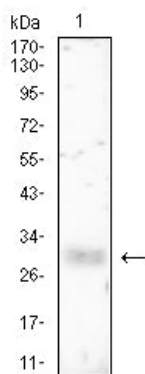
抗原提示細胞で発現します。β鎖は約26~28 kDaです。6つのエクソンによってコードされています。エクソン1はリーダーペプチドを、エクソン2と3は2つの細胞外ドメインを、エクソン4は膜貫通ドメインを、エクソン5は細胞質末端をコードします。DR分子内のβ鎖には、ペプチド結合特異性を指定するすべての多型が含まれています。数百のDRB1アレルが報告されており、一部のアレルは特定の疾患や症状に関連して頻度が上昇しています。例えば、DRB1*1302は急性および慢性B型肝炎ウイルスの持続性に関連していることが報告されています。この遺伝子には複数の疑似遺伝子が存在します。

研究分野

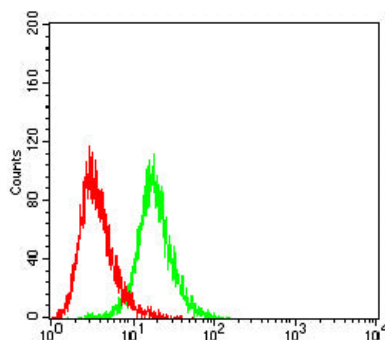
画像データ



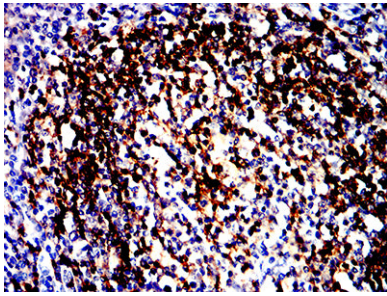
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



Raji(1)細胞溶解物に対する HLA-DRB1 マウス mAb を用いたウエスタンブロット分析。



HLA-DRB1 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Raji 細胞のフローサイトメトリー分析。



HLA-DRB1 マウス mAb と DAB 染色を使用したパラフィン包埋ヒト扁桃組織の免疫組織化学分析。